

プロフェッショナルズ・オーケストラ

東京近郊に在住のモーツァルト好きのプロ演奏家が集まり、モーツァルト作品の研究と演奏を目的に、2010年発足した室内オーケストラです。私たちの目的は音楽の中に込められたモーツァルトの素晴らしさを多くの皆様と分かち合うことです。そのためにモーツァルト作品の持つ旋律の明るさや楽しさ、時には哀愁を帯びた甘美な旋律、作品の中に込められた喜び、悲しさ、魂の救いを求める叫び、そして心を癒す優しさを求め、そこで交響曲ばかりでなく、常に多彩なソリストを招き、オペラやコンチェルトそして室内楽とあらゆる分野に渡り演奏をしていきます。モーツァルトの演奏を通じてクラシック音楽のすばらしさを皆様とともに分かち合い、ともに感じ合う事ができたら幸せと考えております。 連絡先E-Mail professionals@r-suenaga.com



指揮・音楽監督 末永隆一

指揮者、作曲家。指揮法を小松一彦氏に師事。音楽理論を高原博文、増田宏三両氏に、作曲を田中利光氏に師事する。

1975年、作曲家グループ「層」の同人となり、《弦楽とテープのためのポエム》を発表し絶賛を博した。1977年6月《弦楽のための三つの舞曲》を発表、音楽之友社より出版（レンタルライブラリアン）される。また、イタリア大使館の依頼により聖イグナチオ教会においてイタリアの作曲家ペローシーの作品演奏会を指揮する。また同年11月、セルジュ・チェルビダッケの指揮法ゼミナールを受講する。1977年東京工業大学管弦楽団指揮者就任。1978年大岡山フィルハーモニー協会音楽監督就任。同年11月《オーケストラのための前奏曲》を発表。1979年東京ガルトンシュタットオーケストラ常任指揮者就任。1980年石巻ウィンドアンサンブル音楽監督就任。1981年東京工業大学の依頼により百周年記念記録映画に音楽監督として関わり、そのとき発表した記念行進曲《オーケストラのための・燕よ舞い上がれ》は絶賛を博し、それ以来同大学の入学式・卒業式等の式典には毎年演奏されている。1982年オーケストラ・タセット常任指揮者就任。1997年高津市民オーケストラ常任指揮者就任。2000年、2005年に行われたかわさき市民《第九》コンサートの指揮をする。2001年みやぎ国体実行委員会の依頼によりミュージカル《斎太郎物語》を作曲。2006年NPO法人東京オペラ協会30周年記念事業オペラ《ザビエル》を指揮する。また同年第1回かわさき市「みんなでコンサート」を指揮する。2008年合唱団「夢十夜」・オーケストラ「夢十夜」の音楽監督就任し、《レクイエム》を中心とした合唱とオーケストラ作品の演奏活動を始める。

現在作曲活動の傍ら数多くのアマチュアオーケストラや吹奏楽団の指導を手がけている。その指導は楽譜に対する深い洞察力とそれに基づいた演奏解釈を基幹としており、大変定評がある。主な作品には管弦楽のための《アラ・マーチ》、バスト・ロンボーン五重奏《奇妙な踊り、そしてセレナーデ》吹奏楽とバス・トロンボーンのための《ラブソング》、トロンボーン四重奏曲《フィクルネス》などがある。

ソプラノ：大隅智佳子

東京藝術大学声楽科首席卒業。同大学院修士・博士課程修了、学位取得。安宅賞、松田トシ賞、アカンサス音楽賞受賞。首席の榮譽として宮内庁主催御前演奏会に出演。「カルメン」ミカエラ役にてオペラ・デビュー後、多くのオペラに主演。日本初演作品にも多く出演し、新聞などで高い評価を得ている。最近では二期会主催公演「サロメ」にてタイトルロールを演じ、歌唱・演技共に高い評価を得ている。第九や宗教曲などのソリストとしても活動し、N響をはじめ多くのプロ・オーケストラとの共演も重ねている。足利オペラリカ音楽監督、OHSUMI&PRODUCE主宰。二期会会員。

テノール：内山信吾

武蔵野音楽大学卒業、及び同大学大学院修了。第36回日伊声楽コンクール入選。ドイツのブラウンシュヴァイク歌劇場、新国立劇場等にて多数のオペラに出演。今までの主な出演オペラは、「カルメン」ホセ、「蝶々夫人」ピンカートン、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トウリッドウ、「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョ、「友人フリッツ」フリッツ、「仮面舞踏会」リッカルド、「フェウスト」「ドン・カルロ」のタイトルロール、「夕鶴」与ひょう等である。また東京オペラプロデュース主催のヴァーグナー作曲「妖精」アリンダル、シャルパンティエ作曲「ルイズ」ジュリアン、ジオルダーノ作曲「マダム・サンジェーヌ」ルフェーブル、アルファード作曲「シラノ・ド・ベルジュラック」のタイトルロール、マスネ作曲「エロディアード」ジャン、東京室内歌劇場主催のシューマン作曲「ゲノフェーファ」ゴーロ、等の、日本初演オペラにおいてもプリモテノールとして出演し、高い評価を得た。日伊音楽協会会員。足利市民会館専属足利オペラリカ講師。

バリトン：小林昭裕

三重県伊勢市生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。東京芸術大学声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了時に優秀賞・奨励賞受賞。《ウリッセの帰還》《ナブッコ》《ジャンニスキッキ》のタイトルロールの他、《フィガロの結婚》伯爵、《コシファンツウツテ》グリエルモ、《ドンジョヴァンニ》レポレロ（東幹久氏、伊吹吾郎氏と共演）、《魔笛》パパゲーノ、《椿姫》ジェルモン、《ボエーム》ショナール、《こうもり》アイゼンシュタイン、ファルケ等のオペラに出演。コンサートソリストとしては「第九」《メサイア》《ドイツレクイエム》《カルミナブラーナ》、モーツァルト、ヴェルディ、フォーレ、デュリュフレ《レクイエム》等に出演。東響、読響、東京シティフィル、東京ニューシティ管、神奈川フィル、名フィル、群響といったプロオーケストラと共演し、音楽現代、毎日新聞、モーストリークラシック上で称賛された。合唱指揮者としても活動。混声合唱団ブルーメンクランツ、混声合唱団エーレンクランツ音楽監督・常任指揮者。夢十夜合唱団、葛飾区民合唱団指揮者、館林第九合唱団指導者。足利オペラリカ研究科講師。二期会会員。

～FAX申し込み欄 FAX: 044-944-3171～

プロフェッショナルズ・オーケストラ
ニューイヤーオペラコンサート の

チケット(2,500円)を ()
枚申し込みます

お名前：

ご住所： 〒

ご連絡先：

*ここにお書きいただきました個人情報は「モーツァルトの音楽を楽しむ会」の今後の活動での利用のみとし、その他第三者への利用はいたしませんので、お知らせ申し上げます。